

第3章 緑の解析評価及び課題の整理

3-1 緑の解析評価

(1) 4系統による解析評価

緑の解析・評価を、環境保全系統、レクリエーション系統、防災系統、景観系統の4つの系統ごとに行うこととします。

これらの系統ごとに現状の緑がどのように機能し、また市に必要な緑であるかを解析・評価します。

①環境保全系統

- ◆桑名市を代表する自然環境
- ◆田園地帯
- ◆身近な自然（緑）
- ◆都市環境の負荷を軽減できる緑

②レクリエーション系統

- ◆自然とのふれあいができる緑
- ◆市民の身近なレクリエーション活動に対応する緑
- ◆広域的なレクリエーションに対応する緑

③防災系統

- ◆自然災害を軽減する緑
- ◆市街地の災害等を軽減する緑
- ◆避難場所として機能する緑
- ◆避難が困難な地域

④景観系統

- ◆自然景観
- ◆都市の骨格・軸となる緑
- ◆優れた景観の視点場・眺望点
- ◆ランドマークとなる緑
- ◆歴史的・文化的な雰囲気醸し出す景観（緑）
- ◆地域の付加価値を高める緑

解析・評価

各系統における課題の抽出

評価内容

	項目	内容	対象の緑
①環境保全系統	桑名市を代表する自然環境	良好な水辺、樹林地、桑名市の代表的な自然環境、特性について解析・評価する。	・山林 ・河川 ・植生 など
	田園地帯	良好な管理のされた生産力のある農地について解析・評価する。	・農業振興地域 ・農用地区域 など
	身近な自然（緑）	市民生活の身近にある自然や緑の特性について解析・評価する。	・山林 ・農地 ・河川 ・丘陵地、里山 ・社寺林 ・公園※ など
	自然環境への負荷を軽減できる緑	ヒートアイランド現象や大気汚染の滞留の軽減など、都市環境の問題解消に効果が期待される緑について解析・評価する。	
	生態系の保全に資する緑	良好な植物群、希少生物の生息環境に必要な緑について解析・評価する。	・木曾三川 など
②レクリエーション系統	自然とのふれあいができる緑	自然を利用したレクリエーション活動が行えるものについて解析・評価する。	・山林 ・河川 ・公園 など
	市民の身近なレクリエーション活動に対応する緑	住区基幹公園に代表される身近なレクリエーション空間となっているものを解析・評価する	・公園 ・レクリエーション施設 など
	広域的なレクリエーションに対応する緑	都市基幹公園や広域的なレクリエーション活動に対応するものについて解析・評価する。	
③防災系統	自然災害を軽減する緑	自然災害の発生危険性のある地域を解析し、それに対応可能な緑を抽出する。	・砂防指定区域 ・保安林 ・長島地域 など
	市街地の災害等を軽減する緑	自然災害や、防火、延焼を防止できる緑について解析・評価する。	・15m以上の幅員の道路 ・街路樹 ・丘陵地 など
	避難場所として機能する緑	避難場所として利用できる空間、施設について解析・評価する。	・避難地 ・オープンスペース ・公園 など
	避難が困難な地域	現在の避難場所の指定地（配置）から不足地域を抽出する。	・避難場所 （地域防災計画）
④景観系統	水の景観	桑名市の自然景観を構成する要素について解析・評価する。	・河川 など
	都市の骨格となる緑の景観	都市景観において重要な役割を果たすと考えられる緑について解析・評価する。	・河川 ・樹林地 など
	優れた景観の視点場、眺望点	市街地を一望できるなど、視点場や眺望点となる可能性のある場所について解析・評価する。	・視点場 ・眺望点 など
	シンボル・ランドマークとなる緑	市街地において目印やポイントとなる緑及び空間を解析・評価する。	・巨木 ・公園 ・社寺林 など
	歴史的、文化的な雰囲気を醸し出す景観	桑名市の歴史・風土を感じることができ空間及び景観構成要素について解析・評価する。	・社寺（林）、境内 ・旧街道（まち並み） ・史跡 など
	都市景観	市街地において都市景観を形成している空間について評価・解析する。	・街路樹 ・都市施設 など
	田園風景	河川流域に広がる田園風景について評価・解析する。	・農地 ・農業用排水路 など

※公園：都市計画公園、都市計画緑地及び都市計画決定されていない公園・緑地を含める。